



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジシーインターナショナル
コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 C00

(氏名) 城川 雅行

問合せ先責任者 (役職名) IR担当マネージャー

(氏名) 植田 将二郎

TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	43,739	0.1	2,638	△41.2	2,909	△35.8	1,851	△33.1
2022年3月期第1四半期	43,688	2.7	4,486	28.0	4,529	66.3	2,769	63.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,414百万円 (16.1%) 2022年3月期第1四半期 4,665百万円 (245.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.82	-
2022年3月期第1四半期	50.53	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	174,366	113,921	65.3	2,080.75
2022年3月期	164,646	109,492	66.5	1,999.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 113,921百万円 2022年3月期 109,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	17.00	-	18.00	35.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	17.00	-	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,000	5.1	11,100	5.0	11,000	3.8	6,300	3.0	115.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	60,161,956株	2022年3月期	60,161,956株
2023年3月期1Q	5,411,891株	2022年3月期	5,411,891株
2023年3月期1Q	54,750,065株	2022年3月期1Q	54,807,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高437億39百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益26億38百万円（前年同期比41.2%減）、経常利益29億9百万円（前年同期比35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億51百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	43,688	43,739	0.1%
営業利益	4,486	2,638	△41.2%
経常利益	4,529	2,909	△35.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,769	1,851	△33.1%
米ドル平均為替レート（円）	106.09	116.34	9.7%
ユーロ平均為替レート（円）	127.81	130.40	2.0%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	12,777	12,889	0.9%	—
タックラベル	2,699	2,534	△6.1%	—
ソフトパウチ	4,690	5,099	8.7%	—
機械	961	477	△50.3%	—
その他	3,652	2,816	△22.9%	—
売上高合計	24,780	23,817	△3.9%	—
営業利益	3,298	2,417	△26.7%	—
米州				
シュリンクラベル	7,895	9,315	18.0%	7.6%
タックラベル	322	377	17.1%	6.7%
ソフトパウチ	99	69	△29.7%	△35.9%
機械	1,045	1,196	14.4%	4.3%
その他	355	270	△23.9%	△30.6%
売上高合計	9,718	11,229	15.5%	5.4%
営業利益	1,030	823	△20.1%	△27.1%
欧州				
シュリンクラベル	3,304	3,377	2.2%	0.2%
タックラベル	2,018	1,393	△31.0%	△32.3%
ソフトパウチ	45	20	△55.5%	△56.4%
機械	1,762	1,958	11.1%	8.9%
売上高合計	7,130	6,749	△5.3%	△7.2%
営業利益	250	△345	—	—

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	1,803	2,102	16.6%	6.3%
タックラベル	45	46	0.3%	△8.5%
ソフトパウチ	2,049	1,948	△4.9%	△13.3%
機械	44	74	68.0%	53.2%
その他	59	46	△21.3%	△28.2%
売上高合計	4,002	4,218	5.4%	△3.9%
営業利益	147	△173	—	—

(日本)

シュリンクラベルは売上高128億89百万円（前年同期比0.9%増）、タックラベルは売上高25億34百万円（前年同期比6.1%減）、ソフトパウチは売上高50億99百万円（前年同期比8.7%増）、機械は売上高4億77百万円（前年同期比50.3%減）、その他は売上高28億16百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は238億17百万円（前年同期比3.9%減）、損益面は営業利益24億17百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

(米州)

シュリンクラベルは売上高93億15百万円（前年同期比18.0%増、現地通貨ベース7.6%増）、タックラベルは売上高3億77百万円（前年同期比17.1%増、現地通貨ベース6.7%増）、ソフトパウチは売上高69百万円（前年同期比29.7%減、現地通貨ベース35.9%減）、機械は売上高11億96百万円（前年同期比14.4%増、現地通貨ベース4.3%増）、その他は売上高2億70百万円（前年同期比23.9%減、現地通貨ベース30.6%減）となりました。

その結果、米州全体の売上高は112億29百万円（前年同期比15.5%増、現地通貨ベース5.4%増）、損益面は営業利益8億23百万円（前年同期比20.1%減、現地通貨ベース27.1%減）となりました。

(欧州)

シュリンクラベルは売上高33億77百万円（前年同期比2.2%増、現地通貨ベース0.2%増）、タックラベルは売上高13億93百万円（前年同期比31.0%減、現地通貨ベース32.3%減）、ソフトパウチは売上高20百万円（前年同期比55.5%減、現地通貨ベース56.4%減）、機械は売上高19億58百万円（前年同期比11.1%増、現地通貨ベース8.9%増）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は67億49百万円（前年同期比5.3%減、現地通貨ベース7.2%減）、損益面は営業損失3億45百万円（前年同期は営業利益2億50百万円）となりました。

(アセアン)

シュリンクラベルは売上高21億2百万円（前年同期比16.6%増、現地通貨ベース6.3%増）、タックラベルは売上高46百万円（前年同期比0.3%増、現地通貨ベース8.5%減）、ソフトパウチは売上高19億48百万円（前年同期比4.9%減、現地通貨ベース13.3%減）、機械は売上高74百万円（前年同期比68.0%増、現地通貨ベース53.2%増）、その他は売上高46百万円（前年同期比21.3%減、現地通貨ベース28.2%減）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は42億18百万円（前年同期比5.4%増、現地通貨ベース3.9%減）、損益面は営業損失1億73百万円（前年同期は営業利益1億47百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,743億66百万円となり、前連結会計年度末と比べ97億20百万円の増加となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が48億91百万円増加したこと、棚卸資産が19億33百万円増加したこと、有形固定資産が31億12百万円増加したこと、現金及び預金が18億32百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は604億45百万円で、前連結会計年度末と比べ52億91百万円の増加となりました。

これは支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が33億83百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,139億21百万円で、前連結会計年度末と比べ44億28百万円の増加となりました。これは利益剰余金が8億66百万円増加したこと、為替換算調整勘定が33億37百万円増加したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、26億15百万円の収入（前年同期は61億63百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益28億88百万円、減価償却費18億20百万円などの計上、仕入債務の増加額29億98百万円などによる収入、売上債権の増加額37億69百万円、棚卸資産の増加額12億17百万円、法人税等の支払額16億14百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、34億67百万円の支出（前年同期は23億27百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出34億54百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、40億65百万円の支出（前年同期は31億22百万円の支出）となりました。これは、借入金の返済30億9百万円、配当金の支払額9億85百万円などによるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ40億50百万円減少の200億54百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,860	24,027
受取手形及び売掛金	40,854	44,676
電子記録債権	10,206	11,276
商品及び製品	7,772	8,540
仕掛品	4,127	5,181
原材料及び貯蔵品	7,956	8,067
その他	4,533	5,863
貸倒引当金	△183	△256
流動資産合計	101,126	107,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,131	21,368
機械装置及び運搬具（純額）	18,976	20,401
工具器具備品（純額）	2,013	2,077
土地	6,989	8,293
リース資産（純額）	292	279
建設仮勘定	5,647	5,727
その他（純額）	908	922
有形固定資産合計	55,958	59,070
無形固定資産		
のれん	107	90
その他	1,402	1,490
無形固定資産合計	1,510	1,581
投資その他の資産		
投資有価証券	3,776	4,102
繰延税金資産	1,584	1,716
その他	732	608
貸倒引当金	△43	△90
投資その他の資産合計	6,050	6,337
固定資産合計	63,519	66,989
資産合計	164,646	174,366

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,758	15,091
電子記録債務	11,179	13,229
短期借入金	4,382	8,725
1年内返済予定の長期借入金	5,038	30
リース債務	91	90
未払金	3,887	3,856
未払法人税等	817	979
賞与引当金	1,630	2,205
その他	7,811	9,349
流動負債合計	48,596	53,558
固定負債		
長期借入金	2,387	2,540
リース債務	133	116
繰延税金負債	570	649
退職給付に係る負債	2,630	2,721
その他	834	857
固定負債合計	6,557	6,886
負債合計	55,153	60,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	97,677	98,543
自己株式	△8,512	△8,512
株主資本合計	101,758	102,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297	1,506
為替換算調整勘定	6,259	9,597
退職給付に係る調整累計額	176	192
その他の包括利益累計額合計	7,733	11,296
純資産合計	109,492	113,921
負債純資産合計	164,646	174,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	43,688	43,739
売上原価	34,355	36,036
売上総利益	9,332	7,703
販売費及び一般管理費	4,845	5,065
営業利益	4,486	2,638
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	44	52
還付加算金	16	18
為替差益	—	218
その他	27	18
営業外収益合計	97	317
営業外費用		
支払利息	24	24
為替差損	12	—
休止固定資産減価償却費	16	21
その他	0	0
営業外費用合計	54	46
経常利益	4,529	2,909
特別利益		
固定資産売却益	11	3
受取保険金	※1 242	—
特別利益合計	253	3
特別損失		
固定資産除売却損	75	24
特別損失合計	75	24
税金等調整前四半期純利益	4,708	2,888
法人税、住民税及び事業税	1,655	1,204
法人税等調整額	283	△168
法人税等合計	1,939	1,036
四半期純利益	2,769	1,851
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,769	1,851

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	2,769	1,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	209
為替換算調整勘定	1,925	3,337
退職給付に係る調整額	△51	15
その他の包括利益合計	1,896	3,562
四半期包括利益	4,665	5,414
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,665	5,414
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,708	2,888
減価償却費	1,950	1,820
のれん償却額	11	12
受取保険金	△242	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△21	103
賞与引当金の増減額（△は減少）	486	554
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△11	64
固定資産除売却損益（△は益）	63	20
受取利息及び受取配当金	△54	△61
支払利息	24	24
為替差損益（△は益）	67	△183
売上債権の増減額（△は増加）	△4,049	△3,769
棚卸資産の増減額（△は増加）	△66	△1,217
仕入債務の増減額（△は減少）	2,286	2,998
未払金の増減額（△は減少）	△95	73
その他	2,586	872
小計	7,643	4,202
利息及び配当金の受取額	55	61
利息の支払額	△19	△34
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,758	△1,614
保険金の受取額	242	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,163	2,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,264	△3,454
有形固定資産の売却による収入	17	8
無形固定資産の取得による支出	△104	△174
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	2	2
補助金の受取額	42	—
その他	△9	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,327	△3,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△133	△5,009
自己株式の取得による支出	△1,020	—
配当金の支払額	△882	△985
その他	△86	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,122	△4,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	436	867
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,150	△4,050
現金及び現金同等物の期首残高	21,549	24,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,699	20,054

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主に定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用する一方、在外連結子会社は主に定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しております。

当社グループは、環境課題の対応ニーズの加速や消費者ライフスタイル多様性の加速、消費地の拡大等の社会や市場の変化に対応すべく、中期経営計画において戦略・成長投資を計画し、当連結会計年度より一部の設備の稼働を開始いたしました。これを契機として、減価償却方法の再検討を実施いたしました。その結果、これまでの有形固定資産の使用状況及び将来の使用計画等から、当社グループの生産設備等は耐用年数にわたって長期安定的に稼働することが見込まれるため、耐用年数にわたり費用を均等に配分する定額法が固定資産の使用実態をより適切に表すと判断いたしました。

また、中期経営計画では、海外売上比率の増加を目指しております。その一環として、グループ全体で有形固定資産の減価償却方法を統一することで、当社グループにおける投資判断や業績管理により有用な情報を提供できると判断いたしました。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益は121百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ129百万円増加しております。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方と比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で121百万円増加しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,315	9,717	6,142	3,512	43,688	—	43,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	1	988	490	1,944	△1,944	—
計	24,780	9,718	7,130	4,002	45,632	△1,944	43,688
セグメント利益	3,298	1,030	250	147	4,727	△240	4,486

(注) 1. セグメント利益の調整額△240百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,409	11,204	5,688	3,437	43,739	—	43,739
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	25	1,061	781	2,276	△2,276	—
計	23,817	11,229	6,749	4,218	46,016	△2,276	43,739
セグメント利益又は 損失(△)	2,417	823	△345	△173	2,721	△83	2,638

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△83百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以 上